

# 特別編第2号 旭山〜大雪連峰と 旭川の橋

**ぷくぷく**  
発行元 (有)北海道新聞 下村販売所  
旭川市東旭川北1条5丁目9番8号  
ホームページ <http://www.doshin-pukupuku.com/>  
お問い合わせ・お申込みは…フリーダイヤル ☎0120-233746

**shimomura**  
旭山シリーズ  
特別編第2号

## 我が郷土 東旭川の街を最北の電車が走っていた

日本の最北にある電車は、札幌市ですが、旭川に電車があった時は旭川が北端と言うことでした。写真を見て当時を懐かしく思い出し、感慨に浸る人、また、電車だけでなく街の変貌に驚き、時の流れを実感する人も多いことでしょう。昭和47年12月31日、市民に惜しまれながら姿を消した電車ですが、既に40年が過ぎ、私達の記憶から離れつつある今日、電車が街の発展に如何に寄与したのか、そして、市民の生活にどのような影響を与えたのかを、歴史上の記録として残し、次の世代に伝えなければならぬと考えます。

旭川電気軌道の歴史を紐解くと、旭川電気軌道株式会社が、大正15年10月に東川線の起工式を行い、まさに突貫工事により、昭和2年に早くも東川線の営業を開始したのです。東旭川線旭山公園までの全線が開通したのは2年後の昭和4年です。旭川市4条通り18丁目の4条駅を始発駅とし、現在の豊岡4条2丁目に追分駅があり、東川線と東旭川線の分岐点となっていました。両線とも通勤、通学の交通手段として利用されたばかりでなく、4条駅で国鉄と繋がっている事から、東川、東旭川の木材、米、石炭、農業生産資材、日用品の搬入にも力を尽くしました。また、旭山公園のお花見や昭和42年開園の動物園見学等多くの行楽客を運んだことも偲ばれます。

最北にある道内初の農村電車が、都市と農村をつなぎ旭川発展の原動力となった事は言うに及ばず、市民生活の向上に多大なる貢献を果たした郷土が誇れる交通機関だったのです。

しかし、昭和40年までは電車利用人員も増え、経営も順調であったのですがバス、トラックの普及で寄る波に勝てず、終に廃止の運命を辿ったのでした。昔の面影を残す電車路線は、全くありませんが、終点東川駅ホームと倉庫。追分駅と竜谷学園前の中間、小股川に架かっている鉄橋。廃線後、現東光6条7丁目に移転された追分駅舎が寂しげに史跡として残っております。また、活躍した電車は、東川博物館と東旭川公民館に展示されております。是非訪れて頂きたいと思っています。



羊の放牧や原木のままの架線柱など北海道らしい沿線風景  
昭和28年8月 旭川追分付近



東川線千代田駅(現東光6条7丁目)に移された追分駅と表示板



東旭川線を走ったモハ1001



ホームの中央にモダンな駅舎 旭山公園駅  
昭和38年8月



昭和46年 愛宕駅 東旭川線も単線運転であったが、この駅には退避線があり、行き違いの電車が見られる

### 「旭橋」を渡りました元運転手の見た東旭川線 ＝旭川屯田100年史から＝

旭山公園行きの東旭川線が、旭川追分を出発した。附近は何処も見渡す限りの水田地帯にて間もなく墓地前を過ぎ大曲の窪地に差しかかれば、こんな所に沢があるのかと思う間もなく、平地に上がれば愛宕神社を左に見て難波田川に至る。この難波田川に小さな橋が架けられ、軌道では電車が通れるだけの専用の橋が架かり、電車は黙々と旭山公園に向かって走る。屯田時代にはこの小さな橋が「旭橋」と称され、農家はポツポツあるが、ここが屯田兵村1番地として始まるのである。

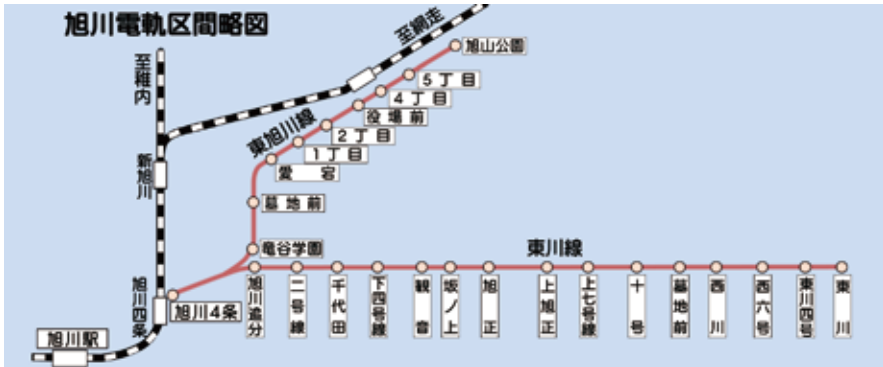


訪れて欲しい今に残る電車史跡  
東旭川線追分駅と竜谷学園前の中間  
小股川に架かる鉄橋

### 旭川電気軌道電車の歩み

大正15年(1926) 3月	旭川電気軌道の設立
大正15年(1926) 10月21日	東川線の起工式 2か月で電車を走らせる 東川旭川間を40分
昭和2年(1927) 1月15日	旭川4条から東川村10号まで軌道工事が完成
昭和2年(1927) 2月14日	旭川4条20丁目から東川村10号までの区間 営業開始
昭和2年(1927) 3月6日	現在の東川4号駅までの営業開始 ※豊岡4条2丁目に追分駅があり東川駅の分岐点となる
昭和2年(1927) 10月20日	鉄道との連絡線開業と共に4条20丁目を現在の4条駅の位置に移転。11月鉄道省との連帯運輸を開始 ※電気軌道は国鉄と宮下通15丁目宗谷線南側付近でつながっており、各地から国鉄で来た貨物を電車の後につけて牽引
昭和4年(1929) 12月30日	旭川追分駅から東旭川村2丁目まで4.4km延長して営業開始
昭和5年(1930) 12月26日	東旭川村2丁目から旭山公園駅まで2.3km延長して営業開始 東川線、東旭川線の総延長は21.6km
昭和24年(1949) 3月27日	車庫火災により車両焼失・破損
昭和47年(1972) 12月31日	運輸営業廃止 昭和40年まで利用人員が増え続けるが貨物は昭和35年がピーク。37年ごろから赤字。開業以来46年間
昭和48年(1973) 9月29日	JRの4条駅が高架になり旅客駅として新設された

### 旭川電軌区間略図



### 後記

#### スタッフの情報と支援に感謝!

第2号完成にあたっては、現電気軌道総合案内所所長 小山田 実さんからDVDと資料の提供を頂き、又、元兵村記念館館長 金巻 鎮雄さん了解の下、文献を活用させて頂きました。そして、編集から構成を、会員の山崎 勝美さんが担当して下さいました。多くの関係皆様にお礼を申し上げます。尚、11月20日13時30分から兵村記念館において「ああ懐かしチンチン電車」の講演会を実施しますので、是非お出で下さいますようご案内申し上げます。